

開催要項

テーマ「流れる水で地域が輝く」

古くから豊かな水の恵みを享受し、水害とも闘ってきた先人たちは、そのエネルギー利用にも取り組んできました。日本は世界で最も早く水力発電に乗り出した国のひとつです。水力発電は農山村の自給用エネルギーとしても、都市への供給エネルギーとしても大きな役割を担ってきました。

いま、地球温暖化を背景に、地域のエネルギー資源である小水力が見直され、全国で小水力発電を復興させようという気運が高まっています。そこで、小水力発電に関心を寄せる人々が一堂に集い、小水力発電をめぐる現状と課題などの認識を共有し、力を合わせて普及を図るために、全国小水力発電サミットを企画しました。

記念すべき第1回サミットの開催地となる山梨県都留市は、日本の水力発電発祥の地のひとつです。都留市の先人は、すでに明治時代に市民出資の小水力発電所を建設しました。その後、大規模水力の時代が続き、この小水力発電所は姿を消してしまいました。およそ半世紀を経て、市内を流れる小さな水の流れを再評価し始めた都留市民は、市の中心部に「元気くん1号」と「元気くん2号」という2つの市民水力発電所を完成させました。

いまや小水力発電の先進地となった都留市で、農山村のエネルギー自給や地域の活性化、地球温暖化防止などさまざまな可能性をもつ小水力発電の魅力について語り合い、交流の輪を広げ、小水力発電の普及を加速していくことを目的に、第1回全国小水力発電サミット in 都留を開催します。

日時	平成22年10月16日(土)～17日(日)
開催地	山梨県都留市
主催	第1回全国小水力発電サミット実行委員会 (都留市・全国小水力利用推進協議会・山梨県小水力利用推進協議会)
共催	山梨県地球温暖化防止活動推進センター (NPO 法人フィールド21)
後援	環境省 経済産業省 国土交通省 総務省 農林水産省 文部科学省 山梨県 山梨県土地改良事業団体連合会 公立大学法人都留文科大学 財団法人新エネルギー財団 一般社団法人ターボ機械協会 NHK甲府放送局 株式会社エフエム富士 株式会社テレビ山梨 富士急行株式会社 株式会社山梨新報社 株式会社山梨日日新聞社 株式会社山梨放送
特別協賛	イームル工業株式会社 シーベルインターナショナル株式会社 大日本プラスチック株式会社 日本工営株式会社 日本小水力発電株式会社 三峰川電力株式会社
協賛	株式会社有明測量開発社 株式会社イズミ 株式会社エイワット 株式会社新成エンジニアリング 田中水力株式会社 株式会社中川水力 株式会社日立産機システム NPO 法人地域会議
事務局	第1回全国小水力発電サミット実行委員会 (都留市 総務部 政策形成課内) 住所：〒402-8501 山梨県都留市上谷1-1-1 TEL：0554-43-1111(代) FAX：0554-45-5005 E-mail：summit@j-water.jp